

時間割番号／Registration No.	G2061		
授業科目名／Course Title	初等教科教育法(図画工作)		
授業科目名英語／Course Title	Teaching Methods in Art and Handicraft for Elementary Education		
担当教員名／Instructor	竹内 晋平		
単位数／Credits	2		
授業の方法／Type of class	講義		
目的／Course Objectives	図画工作科教育の内容、小学校における子どもの造形活動の内容と教育方法を研究しながら、授業づくりの発想と実践力を培う。		
到達目標／Course Goals	小学校図画工作科における子どもの姿を想定し、教材試作・鑑賞研究等をふまえて学習指導案を作成することができる。		
Cuffet 項目／Cuffet	(学校教育教員養成課程)	41	授業力ー学習設計
授業計画(内容と方法) ／Class schedule	1 オリエンテーション (第1章 図画工作科教育のベース) 2 図画工作科の授業とは (第3章 学習指導要領の発展と図画工作) 3 題材の提示① (第4章 児童の造形と造形遊びの指導) 4 題材の提示② (第5章 心象表現と絵の表現指導) 5 題材の展開 (第12章 伝統や文化に関する教育と図画工作) 6 題材づくりと指導案作成① (第7章 適応表現と工作の表現指導) 7 題材づくりと指導案作成② (第10章 [共通事項]を踏まえた学習指導) 8 鑑賞と言語活動 (第8章 平面作品の鑑賞) 9 学習指導案の検討① (第6章 空間認識と立体の表現指導) 10 学習指導案の検討② (第11章 可能性を伸ばす図画工作の評価) 11 ミニ模擬授業1(代表者) 12 ミニ模擬授業2(代表者) 13 ミニ模擬授業3(代表者) 14 ミニ模擬授業4(予備日) 15 まとめ (第15章 世界的・社会的視野での図画工作研究) 16 筆記試験(試験は75分間で実施。配付・回収を含めて90分)		
テキスト、参考図書、教材等 ／Textbooks	<テキスト> 山口喜雄・佐藤昌彦・奥村高明編著『小学校図画工作科教育法』, 建帛社, 2018年 <準備物> A4ファイル, 画用紙(八つ切り大), 絵の具セット一式, 雑巾, 新聞紙, セロハンテープ, はさみ, カッターナイフなど。初回授業で詳細に説明する。		
評価方法／Evaluation	① 通常の授業での学習態度, 授業対話カードの提出状況, 課題作品, レポート(70-80%) ② 筆記試験(20-30%) 【単位を認定するために必要となる規準は、以下のとおりである】 ・教育実習等の理由がない限り、初回授業に出席していること。なお、やむを得ない事情がある場合には、その事情を授業担当者まで連絡すること(教育実習による欠席は配慮		

	<p>の対象となる)。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・欠席が3回以内であること(遅刻は、欠席0.5回と数える。30分以上の遅刻は欠席。病気、けが、公式戦、演奏会なども欠席に含む。但し、インフルエンザなど「出席停止」状態のときは欠席に含まない。いわゆる「遅延証明書」等は受け付けない)。 ・欠席時には、事後に授業担当者から配布プリントや材料を受け取り、自宅で自学自習をすること。課題があれば翌日に提出する。欠席のままで次週を迎えないようにすること。 ・提出物の内容が一定水準以上であり、期限が守られていること。 ・グループ活動は、メンバーと協力して取り組んでいること。 <p>※ 忘れ物があった場合は減点の対象とする。</p>
<p>準備学習等 ／Preparation Learning</p>	<p>材料・用具の準備を行い、図画工作に使用する用具の使用方法を確認しておくこと。</p>
<p>受講上の注意、メッセージ等 ／Caution,Message</p>	<p>図画工作科に対する得手不得手にかかわらず、ものづくりの楽しさを伝える授業科目にしたいと思います。製作をともなった課題やレポートなどが課されますが、ていねいに取り組みましょう。</p> <p>連絡先：美術科教育・竹内晋平研究室 (shimpei@nara-edu.ac.jp)</p>